

(2) 平成 15～17 年度第 3 部会の取組

①早澗川流域の全体像・性格づけ

早澗川および周辺地域の現状や潜在的な魅力について項目を整理し、その項目に従って大切にすべき具体的な地域資源を抽出した。

- 川沿いに開けた景観と崖線緑地、新しい街並みなど川辺ならではの風景の良さ
- 川や川沿いの農地、崖線緑地の自然に接することができる良さ
- 川に関わる様々な人々との出会いによって歴史や文化を学び、情報を提供できる良さ
- その他魅力資源



現況の魅力資源マップ

②早澗川流域の魅力アップ方針

早澗川及びその流域の魅力をよりよくしていくための4つの方針を挙げる。

- 早澗川を自然豊かな「緑道（グリーンベルト）」として位置づけ整備する。
 - 早澗川と既存の南・北緑道・歩行者専用道路とつなぎ、水と緑、歴史を巡るネットワーク（「つづきの緑道（グリーンマトリックス）」）を広げる。
 - 様々な工夫により、早澗川の自然を活かした具体的な魅力づくりをおこなう。
 - 単なるハード整備だけでなく、区民と区役所との協働による継続的な魅力アップを図る。
- 上記4つの魅力アップ方針に対応した具体的な提案として、以下の4つを中心に検討した。

I 南北緑道の連結ルート提案

- ・早澗川にかかる橋を基本に南・北緑道連結ルートを設定
- ・中荏橋ルート
- ・中崎橋ルート「しらすぎのみち」
- ・矢先橋ルート「やさきのみち」
- ・境橋ルート
- ・茅ヶ崎橋ルート
- ・矢橋ルート
- ・待橋ルート

II 早澗川沿い緑道化提案

川側に人が通れる道を確保 水路の開渠化と生き物とのふれあい場の確保

III 早澗川の自然を活かした魅力アップ提案

川へ降りる道をつくり 階段をつくる
川を望める風情のある店舗の誘致

IV 推進方法の提案

- ・より多くの区民の参加を図る。
- ・魅力アップの実現のモデルをつくり他へ展開する。
- ・川の自然をベースに必要性、ニーズを把握し事業化する。

③南北緑道連結ルートの選定

早湊川と既存の南・北緑道・歩行者専用道路とを結びつける南北連結ルートとして、「やさきのみち」「しらさぎのみち」の道が選定された。

【メインルート「やさきのみち」】

- ・既存の水路敷、川沿いの道、歩行者専用道路、歩道などを活用して中川八幡山公園を經由して山崎公園につながり、南・北の緑道をつなぎやすい。また、今後周辺の右岸沿いの水路活用の検討の足がかりとなると期待される。

※ささぶねのみち－水路敷－矢先橋－中川八幡山公園脇－歩行者専用道路－山崎公園

【サブルート「しらさぎのみち」】

- ・早湊川の右岸は田園景観が楽しめ落ち着いている。また、車止めにより車両の通過交通がなく川沿いを安全に歩ける。

※矢先橋－早湊川沿い（右岸）－中崎橋－山崎公園



○「やさきのみち」「しらさぎのみち」におけるサインの必要な箇所について検討し、以下の2種類の案内サイン設置を提案した。



タイプA（鶴見川流域5区共通案内板）

- ・早湊川沿いに1箇所設置する。
- ・案内板に早湊川の説明、地図、地域の情報を掲載する。



タイプB（緑道・公園案内板）

- ・地図入りサインを山崎公園内に2箇所設置する。
- ・Bタイプの小型版を中崎橋と中川八幡山公園の曲がる場所に1箇所ずつ設置する。
- ・都筑中央公園内の既設案内板の差し替える。

④南北緑道をつなぐ魅力あるルートの市民参加型の探索と検討

平成16年11月に実施された「つづきウォーク&フェスタ」において、「やさきのみち」「しらさぎのみち」のPRを兼ねた第2（東側）の南北連結ルート案を示したパネル展示をおこない、参加者の意向調査を実施した。

※南北連結東側提案ルート

○茅ヶ崎橋ルート	投票数 65 (35%)
○矢橋ルート	投票数 22 (12%)
○待橋～	
なつみかん公園ルート	投票数 27 (15%)
山田神社ルート	投票数 8 (4%)
ふじやとのみちルート	投票数 55 (30%)
他	投票数 8 (4%)
計	投票数 185



南北緑道をつなぐ新しいルートの提案募集



アンケートに使用したパネル

⑤早渕川の散策環境向上と水路敷を活用した提案

1) 早渕川周辺整備基本計画の検討

<http://www.city.yokohama.jp/me/tsuzuki/kusei/hayabuchi/hayahoukoku/index.html>

早渕川の魅力ポイントの抽出、川沿いの歩行者動線の確保可能性、親水施設整備案等の検討をおこない、川沿いの散策路と親水拠点・水辺スポットの整備を柱とした早渕川周辺整備基本計画をワークショップ（計5回）形式で取りまとめた。

a) 早渕川周辺整備基本計画

イ. 早渕川及び沿川整備方針

- ・早渕川左右岸の河川管理通路を活用し、歩行者専用または歩行者優先の道となるよう連続して確保し、ニーズに応じて散策路等として整備する。
- ・川沿いの道を活用して散策路等を整備することにより、既存の南北緑道とのネットワークを構築する。
- ・早渕川に流入する水路や周辺の水路敷を活用し、早渕川及び南北緑道との歩行者ネットワークとして活用を図る。
- ・早渕川の自然環境を保全、回復し、水辺の生きものの生育環境を確保するとともに、生きものとふれあえる場を工夫する。



ロ. 拠点等の整備方針

- ・沿川の河川残地、公共施設用地等を核として水辺の拠点を設定し、親水施設等の整備や沿川緑地の保全、創出等により、水辺にふれあえる場を拠点の特性に応じて整備する。
- ・水辺の拠点としては、「西」「東」「中央」の3大拠点と、敷地の工夫や地域の協力などにより水辺のスポットを適宜配置する。

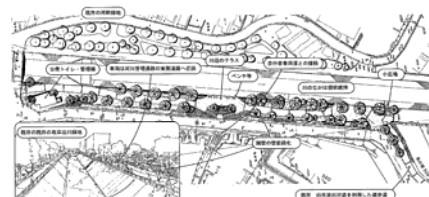
b) 早渕川沿いの散策路整備案

- ・散策路としては、現状で「車両通行不可区間」を中心に歩行者専用の道として、「車両通り抜け不可区間」は歩行者優先の道として位置づけ、検討する。
- ・「車両通行区間」については歩行者優先化としたい。
- ・歩行者専用の道または歩行者優先の道を全川わたって左右岸どちらかに連続させる。
- ・流入水路、周辺水路敷を活用して、川沿いの散策路と既存の南北緑道、歩行者専用道とを接続する歩行者ネットワークの道としたい。

c) 既存の河川残地等を利用した整備案

イ. 「西の拠点」…鍛冶橋周辺

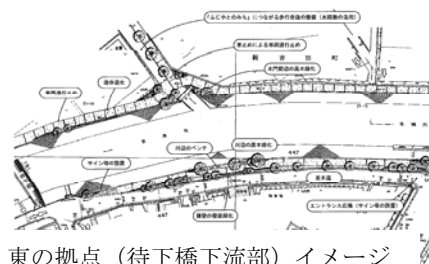
- ・既存の河畔緑地を活かし、川辺の散策や区内の周遊散策等の緑豊かな休憩地点として活用する。
- ・水辺の環境学習や高齢者、障害者等の日常的な憩いの場として活用する。



西の拠点（鍛冶橋上流部）イメージ

ロ. 「東の拠点」…待橋、待下橋周辺

- ・一般車両通行がしにくい現状を活かし、極力車両通行を抑え、川辺の散策や南北緑道の結節点としての利用を図る。
- ・建設中の市営地下鉄4号線東山田駅開設後は通行量が増えることが予想される。駅利用者にとってのアクセス性工場のためにも快適な歩行者空間の提供が必要。



東の拠点（待下橋下流部）イメージ

ハ. 「中央の拠点」…中央地区親水広場周辺

- ・都筑の中心であるセンター南駅、センター北駅をつなぎ多くの人が集い行き交い憩う賑わいのある場として利用する。
- ・中央地区のまちづくりと連携し、様々なイベントや催事、水辺の活動が期待できる。

d) 早渕川周辺整備基本計画の実施に向けた働きかけ

鶴見川流域水のマスタープランに基づく、鶴見川水系河川整備計画に早渕川周辺整備基本計画を反映してもらうよう要望した。



早渕川周辺整備基本計画図

2) 都筑区親水水路整備の基本構想の検討

<http://www.city.yokohama.jp/me/tsuzuki/kusei/hayabuchi/yasakihokoku/index.html>

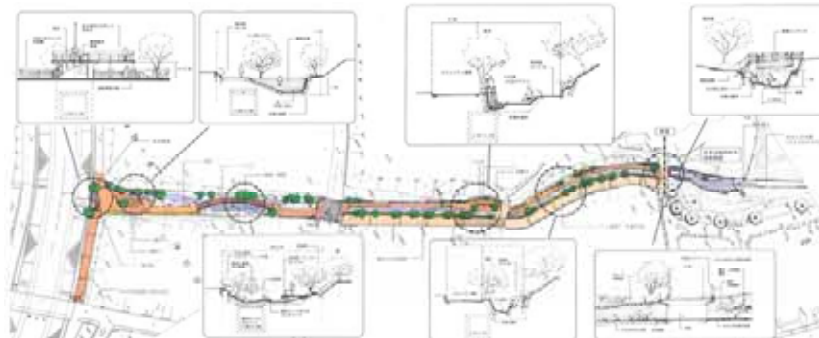
南北緑道連結ルートに選定された「やさきのみち」の水路敷き区間の親水水路整備の具体化について、ワークショップ(計3回)形式で検討をおこなった。

イ. 下流区間の整備イメージ

- ・ゆったりとした流れと水辺にふれられる工夫をおこなう。
- ・水生生物等の生育環境をつくる。

ロ. 上流区間の整備イメージ

- ・車道と一体となったせせらぎのある散策路
- ・ささぶねのみちとの連続性を確保しながら生物の生育環境を工夫する。

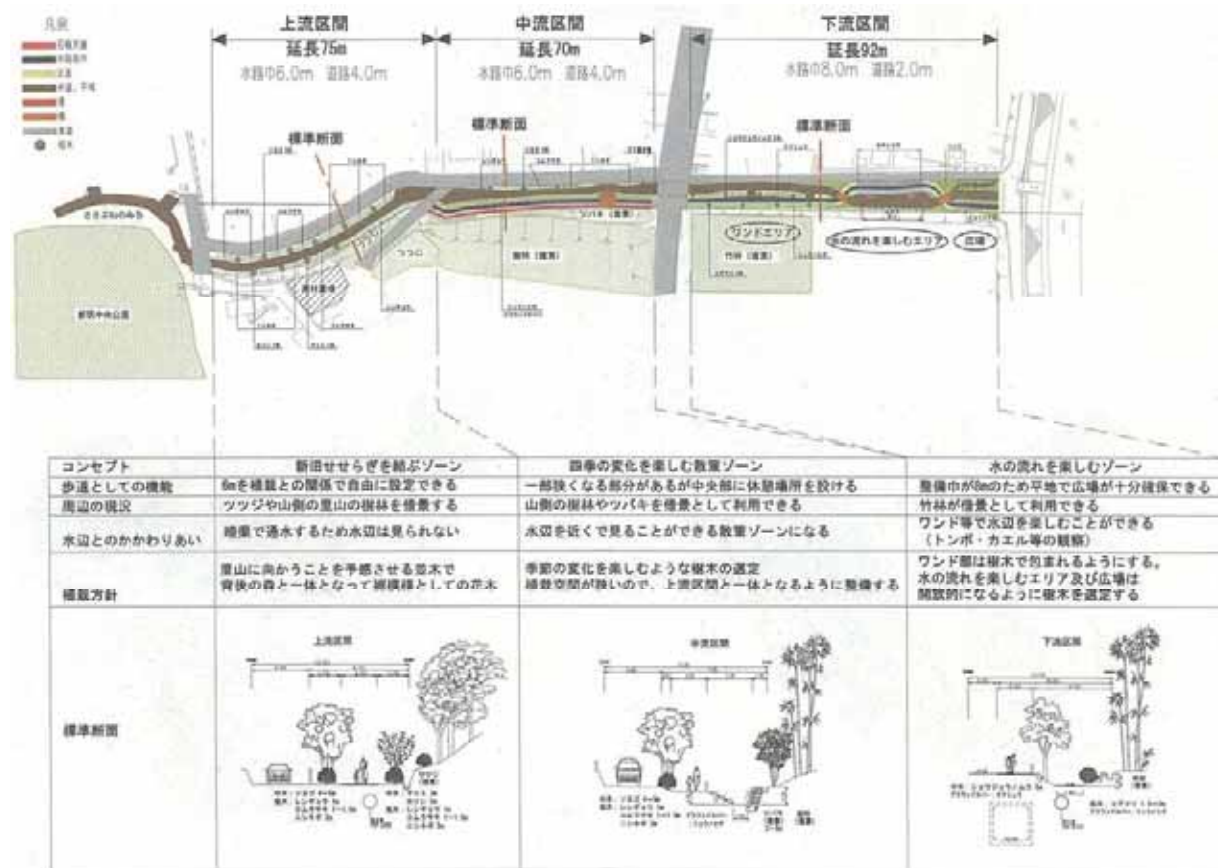


やさきのみち整備構想

やさきのみち整備方針

⑥環境創造局と連携したやさきのみちせせらぎ整備実施設計

環境創造局と協議の結果「やさきのみちせせらぎ整備」に向けて設計を実施することとなり、せせらぎ整備に関する基本事項について地元の意見も含めた検討会を計4回実施した。



やさきのみちせせらぎ整備検討委員会での最終案



やさきのみち水路敷のイメージ図案

⑦やさきのみちせせらぎ整備に向けたイベントの開催

小学生の意見・アイデアをもらうために現地付近で小学生を対象としたイベントをおこなった。イベント開催にあたっては、現地での活動を取り入れて子どもたちが具体的なイメージを持てるように配慮した。(参加者総数約50人)

